

会議名	港区第二青南保育室運営業務委託事業候補者選定委員会（第3回）
開催日時	令和3年11月18日（木）午後6時00分から午後7時10分まで
開催場所	赤坂地区総合支所2階大会議室
委員	出席者 5名（安梅委員長、岡田委員、田中委員、中島副委員長、木下委員） 欠席者 なし
事務局	赤坂地区総合支所管理課
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	【配付資料】 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表 資料3 第一次審査・第二次審査集計結果（※採点終了後、机上配布） 参考資料1 第一次審査集計結果 参考資料2 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書（素案） 参考資料4 第2回選考委員会議事録概要
会議の内容	
委員長	1 開会 （開会の挨拶） （事務局より配付資料の確認）
	2 第二次審査実施概要について （事務局より資料1の説明）
事務局	3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 質問をお願いします。
A委員	提案書では常勤保育士が8名と記されていますが、プレゼンテーション資料では10名です。この理由について教えてください。また、施設長から保育士に指導する内容と実際の保育との違いがあると思いますが、どのような指導をしていますか。また、指導案の中にあるイングリッシュ、ミュージックについて最終的な目標を教えてください。

A事業者	保育士は8名が正しい数字です。
A事業者	主任を交えて会議を行い、指導内容と実際の保育について振り返ります。月次・週次目標について率直な考えを聞き、目標どおり出来なかったこと、良かったこと、次の月につなげていくことを話し合います。 アクティビティについては専門的なスキルを持った職員がいます。港区は国際性と多様性のある地域です。イングリッシュはABCを教えるのではなく、英語に慣れ、英語に対しての印象を良くするための授業を行います。ミュージックはリトミックを中心に、音楽が好きだという気持ちになることを目標としています。
A委員	様々な研修を用意していますが、職員に対して受けるべき研修を指示しますか。または今後していきますか。
A事業者	社内・社外 50 回以上ある研修の中から、個々の職員に合った研修を随時勧めています。また新任保育士には保育力を付けられるような研修を勧めています。
A委員	研修後は本人からの報告や職員間における共有を行いますか。
A事業者	研修報告書で報告を受けます。その後は職員会議において、受講者が講師となり研修内容を職員間で共有しています。
B委員	保護者からのクレーム対応で、施設長自らまたは職員と一緒に改善した具体例を教えてください。
A事業者	遊びの中で起きた喧嘩を子どもへのいじめと心配した保護者がいらっしゃいました。まず保護者の意見を全職員と共有し、その後、双方の保護者と個々に面談を行い、担任を交えて保育における改善提案や保育室の使い方を決めました。保育提案を週単位で行い、保護者と話し合いながら改善していきました。
C委員	特別な支援が必要な子どもについて、提案書に「安全のために必要な増員配置は法人内で検討する」とありますが、配置の基準や目安はありますか。
A事業者	お子様の状況により、集団生活において保育士の加配が必要であると判断した場合は、自治体と相談しながら人員を配置します。お子様がどのような状態で、どのような人手が何人必要なのかを事前によく話し合いながら決めます。
C委員	常勤保育士が必要という判断もあるということですね。
A事業者	専門的な看護師を付けなければならない場合に、自治体と話し合い、常勤職員を配置した例が過去にありました。
C委員	近隣の学校や施設及び地元町会との連携協力について、提案書に具体的な記載がないので補足説明をしてください。例えば保育室の近隣の学校や町会と具体的に

	どのような連携を考えていますか。
A事業者	近隣小学校等との保幼少合同研修会の実施や、放課GO→クラブせいなんの体験入所、青南小学校の秋祭り、近隣町会のごみ拾い等、イベントへの積極的な参加です。新型コロナウイルス感染症対応による状況が良くなれば、他園との交流を再開したいと思います。
D委員	キャリアプランを保育士にしっかりと定着させるよう取り組むと提案書にありますが、施設長としてどのような支援や働きかけを行っているか教えてください。
A事業者	採用後5年程度経過した保育士でリーダーとしての素質がある者には、キャリアアップの提案をします。また、現状に留まらずに自分になりたい姿や目標を持つような声掛けをします。
D委員	施設長として園で改革したことと今後の意気込みをお願いします。
A事業者	たくさんのお子様がおられると、個々のきめ細やかな保育指導は難しいので、トイレ指導など自ら保育現場に1日数回入るようにしています。そのことによって、保育士が私を保育の先輩と仰いでくれるようになりました。 また、新たに取り組んでいるSDGsでは、年長クラスにおける給食の残飯について、自分たちがどれだけ残したか、来月はどれだけ残さずにできるかを、子どもたちと一緒に取り組んでいます。
委員長	まだ改善出来ていない部分とそれについてどんな認識をしていますか。また解決するために今後何を行いますか。
A事業者	保育の質をさらに上げていくことを考えています。子どもの人権を尊重しながら保育をしている姿、全てを保護者に見せても支障がない状態が正しい保育だと思っていますので、今後も指導を継続させていきたいと思っています。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について</p> <p>(事務局より資料3の説明)</p> </div>
委員長	各委員から講評をお願いします。
A委員	事業運営に対する姿勢については、地域の特色を活かした保育をしています。本部の方は保育をよく知っていると評価しました。施設長予定者の保育に対する情熱を感じましたが、保護者に対する確な対応が出来るかどうかは少し不安なところがあります。安全性への考え方や提案書の実現性等、総合評価を踏まえてお任せして大丈夫だと評価しました。
B委員	お任せして良い事業者だと思います。細かい点では文言が統一されていないのが気になりました。施設長予定者は元気があって良いですが、普段の保育におい

C委員	<p>て、落ち着いて対応されているのかは気になりました。自分の言葉で具体例を思い出しながら話していたので、リーダーシップを発揮していると安心できる部分もありました。プレゼンテーション資料の説明がほぼ無く、保育の質や保育室を守るための話に終始し、子どもの保育が見えてこないと感じました。提案書に書いてあることは実行しても、その先の将来性や発展性は感じられませんでした。</p> <p>実績のある事業者なのでお任せするのは大丈夫だと思いました。保育の現場における保育士との関係性は分かりませんが、施設長予定者の意欲は感じました。特別な支援が必要な子どもへの対応は、必要に応じて常勤職員を配置すると言っていたので、評価したいと思います。</p>
D委員	<p>子どもとの向き合い方についての保育理念を聞きたかったです。事業者の見ている先が、保護者に向き過ぎていないか気になりました。提案内容については、今までの保育実績の中でやっていただけると判断しました。施設長予定者も実績を積んでいく中で、本部と協力しながら自分なりの保育をしていってくれるのではないかと期待しています。</p>
委員長	<p>施設長はどのような場面でも論理的に物事等を答えられる必要がありますが、保護者の前でそのように出来るかが心配です。本部の指導が必要だと感じました。保護者に見せられる保育を行うことは当たり前で、それをこの場で言うこと自体、注意が必要だと感じました。</p>
委員長	<p>各委員の講評を踏まえ、点数の変更はありますか。 (委員一同、点数の変更なし) (事務局による集計結果の発表)</p>
委員長	<p>A事業者を事業候補者として選定することとしますが、よろしいですか。 (委員一同、異議なし)</p> <p>A事業者を事業候補者として選定します。事務局から事業者名の発表をお願いします。 (事務局から事業者名の発表)</p>
	<p>5 その他 (事務局より事務連絡)</p>
	<p>6 閉会 (委員長より閉会の挨拶)</p>